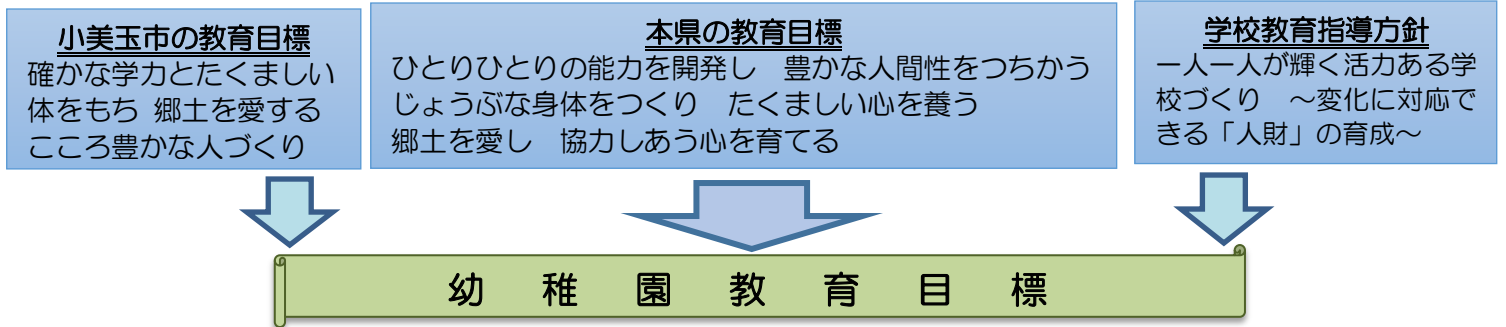
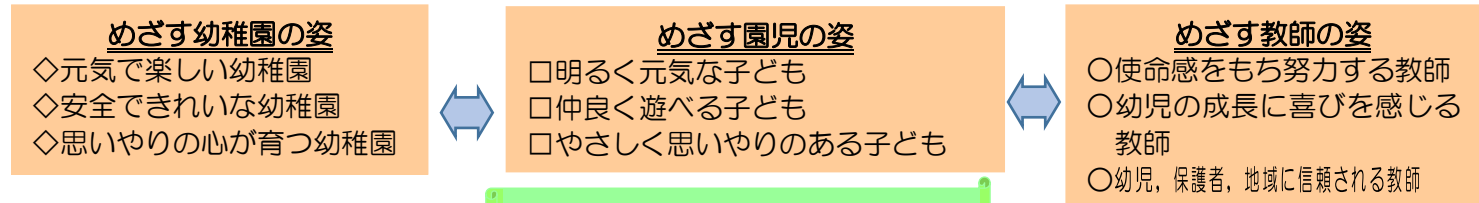


# 令和4年度 小美玉市立よつば幼稚園経営概要



幼児期の発達にふさわしい環境を構成し、豊かな情操を養うとともに自立の態度を培い、心身の調和のとれた幼児を育成する。



## 幼稚園経営方針

- 1 園の課題を明確にし、「めざす幼稚園の姿」「めざす園児の姿」の実現に向けて、教職員が一丸となって指導に当たる。
- 2 小学校との連携を積極的に進め、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、幼稚園での「育ち」と小学校での「学び」をつないでいく。
- 3 保護者と連携・協力して、基本的な生活習慣の定着を図り、様々な体験活動を通して道徳性の芽生えを養う。
- 4 様々な体験活動を積み重ねながら、満足感や充実感を味わい、自信をもって行動できる幼児を育てる。
- 5 幼児が安心して生活できる安全で清潔な環境の維持に努める。

## 幼稚園経営の重点

- (1) 保育上の課題を的確に把握し、教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントを実施する。
- (2) 「遊び」を中心とした生活の中で育まれる幼児期にふさわしい「学び」を充実させる。
- (3) 豊かな体験を通して幼児一人一人の感性を高め、豊かな心の育成を図る。
- (4) 地域の自然、人材、行事や公共施設などの資源を積極的に活用し、体験活動を充実させる。
- (5) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に関して小学校教員と共有し、相互理解を深めるための保育公開及び授業参観を実施する。
- (6) 安全管理及び安全教育を徹底し、幼児の生活安全に配慮した施設・整備の充実を図る。
- (7) 開かれた幼稚園とするために、積極的に情報を発信し、保護者・地域との協力体制を確立する。

## 主な努力事項

- ◇指導と評価の充実**
- ・幼児が主体的に環境に関わり、充実感や満足感を味わうことができる指導を工夫する。
  - ・幼児相互の関わりを通して思いやりの心を育て、自立心を身に付けていく指導を工夫する。
  - ・遊びや生活を通して幼児の変容を適切にとらえ、指導に生かす。
  - ・専門性を高める職員研修を実施する。

- ◇環境構成の工夫**
- ・幼児の発達や実態に即し、指導のねらいや内容に適した環境を構成する。
  - ・幼児の興味や関心、願いや欲求に配慮し、豊かな体験活動を実践する。
  - ・読書活動を推奨するとともに幼児が自ら言葉に親しむ環境を工夫する。

- ◇開かれた園づくり**
- ・未就園児、小学校、地域住民等との積極的な交流活動を実施する。
  - ・保護者と幼児と一緒に活動する機会や保護者と情報交換する場を積極的に設定する。
  - ・学校評議員制度を活用して、幼稚園評価の実施し、保育計画の改善を進める。